

# 読解 (A1)

## 速読 1

### 1

わたし  
私は、今年の6月に結婚するつもりだ。6月まであと3か月しかない。でも、結婚したあと住む家を買ったし、新しい家族とドライブするための車も買った。結婚式場の予約もした。新婚旅行の計画も立てた。準備はだいたいできた。あとは相手を見つけるだけだ。

ぶんしょう  
1.この文章からわかることは何ですか。

- A.この人には、結婚する相手がない。
- B.この人には、結婚する相手がいる。
- C.この人は、準備が嫌いだ。
- D.この人は、準備が遅い。

### 2

となり  
隣のクラスのリーさんは、私のダンス仲間だ。リーさんはおととい、「明日から1週間ぐらい海外旅行に行く」と言っていた。でも、友達  
あした  
が今日、学校でリーさんを見たそう。リーさんがうそをつくとは思えないから、きっと違う人だと思う。

ぶんしょう  
2.この文章からわかることは何ですか。

- A.リーさんは、たぶんうそをつく人だ。
- B.リーさんは、たぶんうそをつかない人だ。
- C.リーさんは、たぶん今日学校にいた。
- D.リーさんは、たぶん明日から旅行に行く。

3.

私は、背が高い。でも、私のクラスには、背が高い人が何人もいる。Aさんは、私より背が高い。でも、Bさんほどではない。Cさんも私より背が高い。Cさんは「私が一番背が高い」と言っているが、この前並んでいるところを見たら、Aさんのほうが背が高かった。

3. 背が高い順番に並んでください。

1. \_\_\_\_\_ 2. \_\_\_\_\_ 3. \_\_\_\_\_ 4. \_\_\_\_\_

## A2

### A2-1

私の趣味はマンガを読むことです。マンガには絵と文字があります。マンガを読むとき、私たちは右脳を使って文字を読んで、ストーリーを理解するそうです。つまり、絵がない本を読むときより、たくさん頭を使って読んでいるのです。それで、マンガを読んだほうが記憶に残りやすいという報告もあります。それが本当なら、学校の教科書もマンガにしたらいいと思います。

#### 語彙 1

右脳を使う =

記憶に残りやすい =

報告があります

それ =

#### 質問

1.筆者はどうして、「学校の教科書もマンガにしたらいいと思います」と言っていますか。

## A2-2

今日、出張の帰りに新幹線に乗った。車内は静かで、空いていた。列車は夜の闇の中を突き抜けるように走っている。乗客はそれぞれの席に座って、思い思いに時を過ごしている。寝ている人、食べている人、スマホを見ている人、パソコンで何やら作業をしている人など。一人ひとりが他の人の時間を妨げることなく、それぞれに自分の時間を過ごしている。限れた空間の中で体が拘束されているが心は自由だ。いや、拘束されているからこそ感じる自由なのかもしれない。新幹線は乗客の体を運ぶと同時に、その自由な時間も運んでいる。私は新幹線に乗るのが好きになった。

### 語彙 1

列車は夜の闇の中を突き抜けるように走っている =

時を過ごしている =

時間を妨げる =

限れた空間 =

体が拘束する =

運ぶ =

### 質問

1.筆者はどうして、「新幹線しんかんせんに乗のるのが好きすになった。」のですか。

## A2-3

飲み物を飲むのにプラスチックストローを使うのをやめよう、という活動かつどうがあります。世界中せかいじゅうのレストラン、ファストフード店、テーマパーク、映画館えいがかん、コーヒーショップ、コンビニなど、プラスチックのストローは広く使われています。アメリカでは一日に5億本おくほんのプラスチックストローが使われていて、このストローを全部ぜんぶつなげると、地球ちきゅうの2.5周分しゅうぶんになるそうです。プラスチックストローは小さくで細ほそいので、リサイクルするために回収かいしゅうされりことはほとんどありません。ごみになって、その一部いちぶが海うみに入いってしままって、海うみの生き物いものが間違まちがえて飲み込こんでしまうことが問題もんだいになっています。

この被害ひがいを減へらすために、プラスチックストローを使うのをやめることにした企業きぎょうが増ふえています。紙かみなどの他ほかの素材そざいのストローや、ストローを使つかわなくても飲のめるようなカップの開發かいはつが進すすめられているということです。

## 質問

どうして、「プラスチックストローを使うのをやめる」企業きぎょうが増ふえていますか。

## A2-3

飲み物を飲むのにプラスチックストローを使うのをやめよう、という活動があります。世界中のレストラン、ファストフード店、テーマパーク、映画館、コーヒーショップ、コンビニなど、プラスチックのストローは広く使われています。アメリカでは一日に5億本のプラスチックストローが使われていて、このストローを全部つなげると、地球の2.5周分になるそうです。プラスチックストローは小さくで細いので、リサイクルするために回収されりことはほとんどありません。ごみになって、その一部が海に入ってしまったら、海の生き物が間違えて飲み込んでしまうことが問題になっています。

この被害を減らすために、プラスチックストローを使うのをやめることにした企業が増えています。紙などの他の素材のストローや、ストローを使わなくても飲めるようなカップの開発が進められているということです。

## 質問

どうして、「プラスチックストローを使うのをやめる」企業が増えていますか。